

日光白根山行報告

【山行日】2023年7月13(木) 曇り時々晴
【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00
【費 用】マイカー1台 : 2,600円
【メンバー】CL:鈴木、SL:福島 飯野、関、
【コースタイム】栃木市運動公園P4:00=
菅沼登山口 P5:30/5:50~弥陀ヶ池 7:45/7:55~
白根山頂 8:50/9:15~避難小屋 10:10/10:20~
五色沼 10:30~前白根引返し点 11:10~五色沼
11:30/12:00~弥陀ヶ池 12:05/12:10~菅沼登
山口P13:40/14:00=栃木市運動公園P16:05



7月2日の大真名子山山行の帰りに、飯野さんから日光白根山に登りたいとリクエストがあり、平日山行で計画した。栃木市運動公園を4:00に出発し、東北道から日光宇都宮道、イロハ坂を進み菅沼登山口駐車場に着く。平日なので車は1台も止まっておらず、我々だけの貸切り山行のようだ。



出発の準備を整え、ストレッチを行なったら出発する。歩き始めて直ぐにいつもの案内板の前で、使用前の元気な写真をパチリ。

平坦な道を少し歩くと、広葉樹の沢沿いの道を登るようになる。やがて沢から右に山腹を登る道になり、コメツガ等の針葉樹林帯の道を登るようになる。ジグザグの道をしばらく登ると、展望が良い平坦な場所に出て小休止する。ここからコメツガやシラビソの薄暗い針葉樹林帯の道を登り、弥陀ヶ池まで0.9Kmの標識が立つ場所で小休止する。さらに座禅山を巻くよ

うに登ると平坦な道になり、視界が開けて弥陀ヶ池に出る。池の右側に付けられた木道を進み、池の南側の畔で休憩する。ここから白根山の山頂部が見えるはずだが、雲に覆われて見ることが出来なかった。周囲にはマルバダケフキやバイケイソウ等が咲き、花を見ながらゼリーや菓子をいただく。ここから少し登ると座禅山の鞍部に出て、左に山頂までの急登が始まる。ハクサンシャクナゲの花の中を登り、森林限界を超えると尾瀬や会津の山々が見えるはずだが、雲が多く眺望は得られなかった。やがてガレ場の急登になり、落石を起こさぬように慎重に登って行く。



右に岩壁を登ると西風が強くなり、岩場を登り切ったら風が弱い場所を見つけて小休止する。

この先から一旦岩場を下り、さらに大きな岩を縫うように登ると白根山頂に出た。2等三角点が置か



れた白根山は、関東以北の最高峰で360度の大展望が得られるが、今日はガスに覆われて展望は得られなかった。それでも登頂した嬉しさで笑顔が弾け、記念写真を撮り合っていた。山頂は風が強いので火口原に移動し、祠の前で小休止する。火口原の縁を歩いて避難小屋に向かい、砂礫の登山道を下り始めるとガスが晴れ、中禅寺湖や社山が見えるようになる。「ウワ～こんな景色が見られるんだ」と大興奮！！景色を楽しみながら下るともう一つ、想像を超える景色が待っ

ていた。砂礫の斜面にコマクサのピンクの花が咲き乱れていた。株は小さいがピンクの花は丁度見頃で、皆さん大喜びで眺めスマホに収めていた。

青空が見えるようになり、眼下にはブルーに輝く五色沼が望めテンションが上がる。避難小屋に着いて大休止し、プリンやゼリーを食べてエネルギーを補給する。ここからゆるやかに下り、上から眺めた五色沼に出る。五色沼の畔を歩き、前白根山に向かって登って行く。もう少しで稜線に出る所で急に空模様が怪しくなり、振り返ると白根山も黒い雲に覆われていた。ヤマテンの予報では昼過ぎから雨の予報なので、ここから引き返し下山することにした。五色沼に戻り、急いで昼食を食べたら弥陀ヶ池に向かう。少し登り返してから下ると弥陀ヶ池に出て、ここから往路を戻って登山口に向かう。雨は降りそうに降らず、何とか濡れずに登山口駐車場に着いた。靴を履き替えたらず菅沼茶屋でトイレを済ませ帰路につく。平日なので渋滞も無く順調に走り、予定より早く栃木市運動公園に帰着した。

